**参考資料2**

大阪市安全なまちづくり推進協議会

構成団体の活動状況

１　　平成29年度　活動内容　　　　　１頁 ～ 19頁

２　　平成30年度　活動計画　　　　 20頁 ～ 35頁

平成29年度　構成団体活動状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 団体名 | 平成29年度活動内容 | |
| 大阪市工業会連合会 | １　各地域で開催されるキャンペ―ンやイベントへの市工連会員である地域工業会・産業会により参画を行った。  ２　各種防犯対策キャンペーンなどを市工連会員である地域工業会・産業会に対して、傘下会員企業への広報を依頼した。  ３　啓発冊子やリーフレットの配布、掲示を行うとともに市工連会員である地域工業会・産業会に対して掲示並びに傘下会員企業への配付を依頼した。 | |
| 大阪市子ども会育成連合協議会 | １　「子どもの生命と安全を守る」活動  ・子どもの生命と安全を守る講習会等実施  ・子どもと話そう３６５  ・安全教育の推進  ２　各区子ども会において、警察等を迎えての防犯教室や交通安全教室の実施  ３　各区子ども会においての見守り隊の協力 | |
| 大阪市社会福祉協議会  大阪市ボランティア・市民活動センター | １　安全ガイドブックを本会に設置し、防犯対策について広く市民に周知した。  ２　各区社会福祉協議会において、地域の防犯ボランティア団体等と連携を図りながら、地域における防犯活動に参加する等の取組みを継続して実施した。 | |
| 大阪市商店会総連盟 | １　各商店街で区役所等と連携し、啓発物の配布･掲示を実施。  ２　各区のイベント等において、市民へ安全･安心を呼びかける防犯啓発活動を実施。 | |
| 大阪市身体障害者団体協議会  大阪市身体障害者団体協議会 | １　障害者週間キャンペーン  　「共生社会の実現」「障害に関する理解の促進」等をテーマとして大阪市各区の障がい者が主体的に参加し、区役所・駅・主要ターミナルで啓発物品を配布し、啓発活動の展開を図ります。  　　・障害者週間―毎年12月3日～9日  　　・啓発物品―ポケットティッシュ  「何かお手伝いしましょうか？」と声をかける  “一声バリアフリー”にご協力を！  ・参加人数―大阪市内各区10～30名  ２　第24回大阪市身体障がい者福祉大会  日　時：平成29年7月16日（日）　13時00分～  　　場　所：大阪市立東成区民センター　大ホール  　　式次第：（１）式典  　　　　　（２）講演「特殊詐欺の被害防止について」  講師：大阪府警本部　特殊詐欺対策室  　　　特殊詐欺対策第二係　警部補  （３）議事  （４）アトラクション  　　　参加予定人数：約400名 | |
| 大阪市青少年活動協会 | １　知識の普及  　　安全のための知識を普及するために、青少年活動指導者対象の研修会や講座を開催し、また、依頼を受けて講師として「指導者がおこなう安全管理のチェックポイント」や「ＫＹＴ（危険予知トレーニング）の活用」などの指導をおこなった。  　・（一財）大阪教育文化振興財団「地域こども体験活動事業」に  講師登録  　　　おとなミニ研修「こども活動の安全管理」  　・青少年活動リーダースクール  　　　野外活動指導者養成講習「野外活動における安全管理」  　・大阪市私立保育園連盟キャンプ研修会  　　　リスクマネジメント「キャンプにおけるリスクマネジメント」  ２　防犯カメラの設置  　　指定管理者として管理・運営をおこなっている、大阪市立長居ユースホステル（東住吉区）においては、犯罪防止の視点からも、引き続き監視カメラを設置している。 | |
| 大阪市青少年指導員連絡協議会 | １　指導ルーム活動の実施  　毎月２５日を「統一指導ルームの日」と設定して、市内全域で夜間巡視を実施  ２　研修会の開催  　　各区、地域での夜間巡視に関する活動事例を発表することで、青少年指導員相互に意見交換を図ることができた。 | |
| 大阪市青年団体協議会 | １　会合や事業終了後帰宅時の注意喚起  ２　啓発冊子の配布と内容説明  ３　推進月間の広報  ４　加盟団体地域の安全運動推進活動への参加 | |
| 大阪市地域女性団体協議会 | １　女性学習会を通じた「地域における安全・安心なまちづくり」についての学習および啓発  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起 | |
| 大阪市地域振興会 | ○　各区において、防犯ボランティア活動を展開し、区役所、警察署、各防犯ボランティア団体と連携を図りながら、様々な防犯活動を展開した。 | |
| 大阪市手をつなぐ育成会 | １　子どもの安全見守り活動への協力  所管施設において「こども110番の家」のステッカーを掲示し、子どもの安全確保に協力した。  ２　防犯パトロール活動への協力  所管施設所在の連合町会と協力して防犯提灯の設置および年末警戒パトロールに参加した。  ３　犯罪抑止活動  所管施設前の生活道路の清掃を兼ねて犯罪抑止の見守りを行った。また、町会が防犯カメラを設置する際に所管施設の場所を一部提供して犯罪抑止につなげている。 | |
| 大阪市PTA協議会 | １　大阪市立校園ＰＴＡ役員・委員研修会で、「子どもたちの安全を考えた地域活動」についての事例発表をしていただき、それを参考に、参加者と共に理解を深めた。  ２　月１回の理事会で、地域の安全運動に関する資料を配布した。 | |
| 大阪府防犯協会連合会  大阪府防犯協会連合会 | １　地域安全運動・歳末警戒の実施  　・春と秋の地域安全運動の推進  　・全国地域安全運動大阪府民大会（警察との共催）  　・「８・８安全安心なまち大阪を目指して」の開催  ２　広報啓発活動の実施  　・「大阪府安全なまちづくり推進会議」「大阪市安全なまちづくり推進協議会」、防犯設備士協会、質屋防犯対策協議会等と協働した活動の推進  　・機関紙「防犯おおさか」での広報啓発（年３回発行）  　・「安全なまちづくり（地域安全活動）」、地域安全運動及び歳末警戒時のチラシ・グッズ等の作成配布  　・ホームページの運営（犯罪発生状況、安全なまちづくり関係など）  　・暴力団排除活動の推進（暴力団追放府民大会の後援・理事会参加）  　・覚醒剤、危険ドラッグ等薬物乱用防止の広報  　・特殊詐欺及び悪質商法の被害防止広報（高齢者対策の推進）  　・自転車防犯登録制度の勧奨と鍵掛けツーロック運動等の推進  　・防犯関連図書、資料の斡旋  ３　防犯団体への支援活動  　・ブロック連絡会の実施（各地区防犯協(議)会及び警察との連携強化）  　・防犯団体が実施する防犯対策・活動等への助言・支援活動  　・防犯団体等へのＤＶＤ等貸し出し  ４　防犯ボランティア活動の活性化  　・防犯功労者に対する各種表彰  　・地域交流会の開催による相互啓発と自治体・警察との接点づくりの提供による活動の継続及び発展の意識づけ、活動支援環境の充実  　・全防連主催の「次世代防犯ボランティア育成プログラム」への参加を通じた次世代の防犯ボランティアリーダーの育成  ５　防犯キャンペーンへの支援  　　ひったくり防止カバー、防犯ブザー等の配布、ナンバープレート盗難防止ネジ等の斡旋など  ６　防犯設備及び資機材の普及促進  　・防犯建物部品（CPマーク）等の優良防犯器具の普及促進  　・防犯モデルマンション、防犯モデル駐車場、防犯器具等登録制度の普及促進  ７　有害環境浄化に向けた取組  　・風俗営業所管理者対象の定期及び処分時講習の実施（受託事業）  　・風俗営業許可及び構造、設備変更申請に伴う営業所等の調査(受託事業) |
| 大阪市保護司会連絡協議会  大阪市保護司会連絡協議会 | ○　大阪市の安全で安心なまちづくりを目指して、大阪市内の各24区内において、駅前、街頭、区民まつりなど、人の出入りの多い適切な場所において啓発活動を実施した。  ・統一標語「ちょっとまって！それは詐欺かも！」、  「ＡＴＭで還付　それは詐欺」をプリントした防犯を意識付けできる物品（ウェットティッシュ、ＬＥＤライト付ボールペン）の配布と、自転車のカゴカバー取り付けを実施した。  ・特殊詐欺被害防止の周知と理解を促すチラシを作成し、簡単な質問  をチェック方式で答えてもらう方法で市民に対する啓発を実施した。  ・本活動の効果測定のために、無作為抽出で一般市民にアンケートを  取り、調査を実施した。 |
| 大阪市民生委員児童委員協議会 | １　地域の子どもたちを犯罪から守るため、地域内の各団体と協力して登下校の見守りを実施した。  ２　夏休み期間に、夜回りを実施した（数区にて実施）  ３　ひったくり、振り込め詐欺などの特殊詐欺の注意喚起 |
| 大阪市老人クラブ連合会 | １　高齢消費者被害防止講習会の開催（大老連指導者研修会及び各区老連で随時実施）  ２　交通安全大会・講習会等への参加（各区老連で随時実施）  ３　ひったくり等についての注意喚起（各区老連で随時実施）  ４　特殊詐欺についての注意喚起及び講習会の開催（各区老連で随時実施） |
| 大阪青年会議所 | ○　防災に関する会員への啓発 |
| 大阪府警備業協会  大阪府警備業協会 | 「安全なまち大阪」の確立に向けた公的事業に対する積極的な参加・推進を平成29年度の事業計画に掲げ、次の活動を実施した。  １　地域社会の安全と安心の確保に貢献するため、街頭犯罪をはじめとする各種犯罪等の未然防止活動の実施  (1)還付金詐欺被害防止の街頭キャンペーンの実施  　　大阪府警察と連携し、協会独自に作成した被害防止のチラシやステッカーを活用して、府下の警察署と合同で被害防止キャンペーンを実施した。  (2)府下の無人ＡＴＭ警戒への協力  昨年６月、大阪府警察が「還付金詐欺被害防止」を目的に府下の無人ＡＴＭ機に警察官を配置し、警戒を実施した際、当協会の安全活動協力隊員を派遣して同様の警戒を実施した。  (3)「警備の日」における「還付金詐欺被害防止」キャンペーン  　　１１月１日の「警備の日」広報キャンペーン時に警察署と合同で  　　「還付金詐欺被害防止」のチラシやステッカーを配布した。  ２　各種事件事故防止活動時等における防犯意識の普及・啓発活動の実　　　　　　　　　　　施  (1)全国地域安全運動府民大会への参加(平成29年10月7日)  (2)大阪安全なまちづくりキャンペーンへの参加  大阪安全なまちづくり推進会議等が主催する平成29年度大阪  安全なまちづくりキャンペーンに参加し、防犯意識の普及・啓発活動を実施した。(平成29年10月25日)  (3)会報等への「安全なまちづくり」に関する活動等の掲載  　　 会報(年４回、各回１，４００部発行)及び週報(毎週会員数分  発行)に「安全なまちづくり」に関する活動等を掲載し、防犯意識の普及・啓発活動を実施した。  (4)「防犯・防災総合展 in KANSAI 2017」への参加による防犯意識の  普及啓発活動を実施  　　 防犯・防災総合展実行委員会、テレビ大阪が主催する  「防犯・防災総合展 in KANSAI 2017」に出展し、防犯グッズを  配布し、防犯意識の普及・啓発活動を実施した。  (5)東成警察署防犯協会への防犯活動支援  　　 犯罪の未然防止・少年の非行防止等の活動を支援した。  ３　子どもを守る活動の実施  ・「大警協安全安心まちづくりメール」による子どもを守る活動  　　大阪府警察の「安まちメール」から「子ども被害情報」を選別編集し、会員に配信し情報共有を図る等、子どもを守る活動を実施した。 |
| 大阪府錠前技術者防犯協力会 | １　警察等と連携した防犯教室（侵入盗防止セミナー）の開催、警察、大阪府、大阪市、各自治体等の防犯キャンペーン、各イベントの支援（安全な錠前、CP錠の展示）  ２　府民からの防犯相談及び防犯診断の無料実施  ３　府警・大阪府等の依頼による「放置自動車施解錠」業務の参画  ４　府民に「安心できる会員錠前業者」の紹介  ５　「大錠協防犯啓発コーナー」（錠前の常設展示）の設置と広報  ６　各自治体（警察署）の「安全なまちづくり推進協議会（委員）」への参画  ７　ホームページ（本会及び大阪府警察本部とリンク）での広報啓発活動 |
| 大阪駐車協会 | １　大阪府安全なまちづくり街頭キャンペーンへの参加  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起 |
| 大阪府防犯設備士協会  大阪府防犯設備士協会  大阪府防犯設備士協会 | １　安全なまちづくり運動への参加と支援  （１）街頭犯罪抑止活動としての街頭防犯カメラの設置支援  　　　・・相談受理　延3回、延3人  （２）大阪府防犯優良戸建住宅認定制度の推進  ・・申請86件、設計審査認定86件、認定73件  （３）大阪府防犯優良戸建住宅外構認定制度」を創設  　・・申請2件、設計審査認定2件、認定0件  （４）大阪府防犯優良低層マンション認定制度の推進  　・・申請12件、設計審査認定12件、認定12件  （５）大阪府防犯モデルマンション登録制度の審査への参画・支援  （（公社）大阪府防犯協会連合会が実施主体）  　　　○大阪府防犯モデルマンション登録制度の審査  ・・申請99件、登録95件  （６）警察署等からの依頼に基づく防犯活動の実施  　　　警察署等からの要請に基づき、防犯設備アドバイザーを派遣し、防犯講話、防犯機器の展示、防犯診断を実施　（上記「１（１）街頭犯罪の抑止活動としての街頭防犯カメラの設置支援」を含む。）  　　　○防犯講話の実施・・延23回、延24人  　　　○防犯診断の実施・・延29回、延42人  　　　○防犯機器の展示・・延1回、延3人（防犯防災総合展は除く。）  ２　安全なまちづくりに関する各種協議会及び大会への参画・参加  （１）府・各市町村安全なまちづくり推進会議（協議会）  及び幹事会への参画（随時）　・・延27回、延27人  （２）大阪府民大会へ参加（10月7日） ・・延１人  （３）地域安全運動期間中のキャンペーンへの参加（10月25日）  　　　　　　　　　　　　・・延4人  （４）住宅侵入犯罪等抑止対策協議会総会等に参画  　　　　　　　　　　　　・・延3回、延3人  （５）大阪府安全なまちづくり推進会議委員の連絡会議（10月3日）  ・・延45人  （６）トリヴェール和泉メグリエシティ開所式参加（10月14日）  　・・延4人  （７）（公社）日本防犯設備協会が主催する会議への参画  　　　　　　　　　　　　　・・延3回、延5人  　・防犯設備士（業）協会全国大会（11月17日）  　・地域協会連絡会　　第１回：7月24日、第２回：3月27日  （８）大阪府自動車盗難等防止対策協議会総会に参画（3月6日）  　　　　　　　　　　　　　　　・・延１人  （９）東警備業防犯協議会役員会等への参画　・・延5回、延5人  （10）優良防犯マンション認定制度連絡会へ出席（2月10日）  ・・延1人  （11）大阪府万引き総合対策協議会への参画（2月16日）  ・・延1人  ３　防犯研修会及び防犯機器の展示会等の実施  （１）通常総会開催時を利用し、防犯研修会及び防犯機器の展示会を実施（6月6日）  　　　参加会員・・防犯研修会88名、展示会出展企業13会員  （２）各種イベント会場での防犯機器の展示及び防犯相談の実施  　　○防犯防災総合展inKANSAI2017（6月8日～6月9日）  主催：（株）テレビ大阪エクスプロ　・・延10人  　　○マンション管理フェスタ（9月10日）  　主催：大阪市マンション管理支援機構　・・延3人  （３）常設展示場の設置・活用（通年）  　　 曾根崎警察署地下・大阪府警広報コーナーに設置した  防犯設備・機器の常設展示場を有効活用  ４　安全なまちづくりの啓発活動  　　○「安全で安心して暮らせるまちづくり」（NPO法人大阪府防犯設備士協会広報用パンフレット、「わが家の防犯対策講座」、「大阪府防犯優良戸建住宅認定制度」など安全なまちづくり啓発用パンフレットの配布及び同趣旨のパネルを展示（各種イベント参加時）  ○協会創立１５周年の集大成として「１５周年記念誌」を発行、大阪府・大阪市、各市区町村安全なまちづくり推進協議会、各警察署等へ配布  ５　防犯従事者等への教育事業の実施  （１）防犯設備士養成講習への支援  　　○6月2日～3日・・受講84名、11月10日～11日・・受講95名、  2月9日～10日・・受講72名  （２）防犯設備アドバイザーの拡充と技術の向上  ○第14回防犯設備アドバイザー養成講習（12月12日）  ・・受講13名  ○現任講習の開催（上記、2(5）を本講習として開催）  ・・受講45名  ○大阪府警察防犯実務専科教養への講師の派遣（1月17日）  　　・・受講25名 |
| ガールスカウト大阪府連盟 | １　随時指導者研修を行い、活動時の安全については必ず指導した  ２　中高生年代の少女が　夜の集会の帰途の危険予知の学習を指導者と共に行い、安全指導を行った。防犯カメラの所在地の確認なども行った。  ３　ＳＮＳなどの個人情報の扱い方の注意点の確認 |
| 日本郵便株式会社  大阪北郵便局 | １　広報啓発物の掲示等の推進  ２　こども110番  ３　大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定に基づく地域づくりの推進 |
| 大阪府  大阪府  大阪府  大阪府 | １　大阪府安全なまちづくり推進会議の取組  　○総会の開催  ・オール大阪の安全なまちづくりに向けた目標を設定  　・「子どもや女性を対象とする犯罪の被害防止」「ひったくり・路上  　　　強盗の被害防止」「自動車を狙った犯罪の被害防止」「特殊詐欺の  被害防止」  　　・西川きよしファミリーを『大阪府安全なまちづくり大使』に委嘱  　○防犯キャンペーンの実施  　　・府民の自主防犯意識の向上を図るため、安全なまちづくり推進  　　 月間（10月）に、犯罪の被害防止に向けたキャンペーンを実施  　　　10月12日：府警コミュニティプラザ（特殊詐欺キャンペーン）  　　　10月14日：淀川区民大会（安まち大使西川かの子氏参加）  　　　10月21日：岸和田市総合体育館  　　　　　　　　　（大相撲岸和田場所でのキャンペーン）  　　　10月25日：ホワイティうめだ（安まち大使西川きよし氏参加）  　　・防犯展示会（防犯防災総合展ｉｎＫＡＮＳＡＩ2017）  　　　６月８、９日：インテックス大阪  ２　地域安全センターの設置促進・活動支援  　○地域安全センター未設置校区の関係者に対する継続した働きかけを実施した。  　○地域安全センターの実態を踏まえた防犯ボランティアの活動を支援し、活動の定着化及び活性化に向けた支援を行った。  　　・防犯ボランティア等の要望に応じた活動支援を行った。  　　・地域安全センターを活用した防犯ボランティアの好取組につき、  府ホームページや治安対策ニュースなどの広報媒体を通じて、  府民に紹介した。  ３　防犯ボランティア活動の活性化  　○青色防犯パトロール活動の促進  　　・事業者団体から寄贈を受けた青色防犯パトロール車両８台を　　　 市町村へ１台ずつ配分し活動の促進を図った。  　○府ホームページや府が発行する治安対策ニュース等により防犯　 　ボランティアの取組や犯罪情報等の提供を実施した。  　○大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰を行い、府内で 　　好取組を行っている防犯ボランティア団体に知事表彰を授与した。  ４　防犯意識の高揚  　○企業に防犯活動への取り組みを働きかけ、子供、女性被害及び特殊詐欺被害防止のための啓発物品の寄贈を受けた他、合同でのキャンペーンを実施した。  　○府と包括連携協定を締結した企業において、特殊詐欺被害に関する社員研修を実施した。  　○市町村防犯担当者連絡調整会議を開催し、各市町村へ防犯に関する情報を提供するとともに、特色ある活動の紹介等を行い、各市町村における防犯活動の活性化を促進した。  ５　少年非行防止と子どもの安全確保ための取組  　〇少年非行防止活動ネットワーク構築  ・未構築の市区町村への重点的な働きかけを行い、7市区町村で  新規ネットワークを構築した。（合計構築数65/66市区町村）  ・少年非行防止活動ネットワークの活動支援として、夜間の街頭  　　　巡回の同行指導や研修等を実施した。（支援実施回数：66回）  　○少年非行防止の広報啓発の実施  　　・「少年非行・被害防止強調月間、暴走族追放強調月間」に、啓発  　　　キャンペーンの実施や啓発ポスター等を作成した。  　　・少年非行防止対策関係会議や啓発キャンペーンへの参画を通じて関係機関と協働した広報啓発を実施した。  　　・府内10カ所の少年サポートセンターにおいて、警察・教育委員会と連携した、小学校高学年に対する非行防止教室等を実施した。  　　　　　（実施校999校／1,007校、実施率99.2％）  　○こども110番運動の活性化  　　・こども110番月間の８月にＮＨＫ大阪放送局、府営公園、市立　 　吹田スタジアム等において、こども110番の家の広報・啓発を実施  　　　した。  　　・ホームページ、府政だよりや事業者の出版物における広報スペースによりこども110番の家の広報・啓発を実施した。  　○防犯カメラの設置促進  　　・自治体に対して、防犯カメラなど防犯環境整備に関する調査、  　　 情報提供と、警察と連携した防犯カメラ設置の働き掛けを実施した。  　　・治安対策課の働き掛けにより創設された大阪府市町村振興協会の補助金により、市町村への防犯カメラの普及を促進した。  ６　青少年が健やかに成長できる社会づくり、自立できる社会づくりの  　取組  　○青少年を取り巻く社会環境の整備  　　・OSAKAスマホサミット2017（小中高参加校11校、来場者約270人）  　　・スマホ・SNSのトラブルから子どもを守る指導者研修  　　　　（実施回数20回、受講者約2,800人）  　　・小学生のための出前授業（ネット・SNS・安全教室）  　　　　（実施校5校・対象小学生2～4年生）  　　・先進的な実践事例を含んだDVD付事例・教材集を作成  　　　　（府内の小中高校等に約3,000部配布）  　　・JKビジネスにおける青少年健全育成審議会特別会の開催（5回）  　　・「スマホに潜む危険を考えるシンポジウム」の開催  （来場者約120人）  　　・JKビジネス営業者への規制を盛り込んだ青少年健全育成条例の  　　　一部改正  　○市町村による子ども・若者支援地域協議会の設置など支援ネット  　　　ワークの構築促進  　　・民間支援団体と市町村との意見交換会等を開催  　　・子ども・若者支援地域協議会設置市町村数（H29年度末5市）  ７　特殊詐欺被害防止対策の実施  　○特殊詐欺被害防止緊急対策事業  　　・高齢者へ特殊詐欺対策機器の貸し出しを行う市町村事業への  補助を実施し、機器の普及を促進した。  　　・特殊詐欺被害防止広報用DVDを作成し、府内市町村、警察署、  地域安全センター、事業団体等へ配布した。  　　　（事業者の協力による放映場所～JR西日本・近鉄の主要駅、  　　　　なんばグランド花月等）  　○府ＨＰ、府政だより等を活用した特殊詐欺被害防止広報の実施した。  ８　性暴力・性犯罪の被害者支援  　○連携協力会議の開催や協力医療機関の職員研修を通じて、  　　性暴力被害者支援のネットワークの充実・強化を図った。  　○性犯罪・性暴力被害者に対する支援の安定化に向け、  　　ワンストップ支援センターによる24時間365日の相談支援事業等  　　への補助制度を創設した。 | |
| 大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部 | １　地域安全センター等への活動支援  ○子どもの安全見まもり隊活動等地域防犯活動の活性化  ・子どもの安全見まもり隊等との合同による見まもり活動を実施した。  ・地域安全情報を提供するなどの活動支援を実施した。  ○地域安全センターを中心とした効果的な防犯ボランティア活動の推  　進  　　・地域安全センターの実態を把握するとともに、防犯ボランティア活動を行う地域住民等に対し、地域安全センターの活用及び活動の活性化に向けた支援を行った。  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  ○事業者に対して、事業者の特性を生かした防犯CSR活動への参画に向けた働き掛けを実施した。  ３　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発の  推進  ○大学生等による防犯ボランティア団体設立を促進し、防犯ボランティア活動の拡充を図った。  ○若手防犯ボランティアの主体性を醸成するための支援として、近畿及び大阪学生安全・安心ボランティア交流会を実施した。  ○自治体、事業者等へ働き掛けを行い、防犯啓発物品等の提供を受け、防犯ボランティア団体への活動支援を実施した。  ○防犯ボランティア相互間の情報共有や活動の拡充、活動意欲の向上を図るため、全国地域安全運動大阪府民大会、防犯協会ブロック連絡会議等を実施した。  ４　青色防犯パトロール活動の促進  ○青色防犯パトロール活動の促進  ・ホームページで青色防犯パトロール活動事例などを紹介した。  ・「青パト活動マニュアルDVD」を配布し、より効果的な青色防犯パトロール活動を推進するための働き掛けを行った。  ○犯罪の発生分析資料等を提供し、下校時間帯及び夜間帯における活動の拡充に向けた働き掛けを行い、昼夜間帯の活動が昨年より増加した。  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボランティア支援など積極的な情報の提供  ○先進活動事例、イベント、犯罪情報、防犯知識等の提供  ・大阪府警察ツイッターを活用して、各署のキャンペーン状況や大学生防犯ボランティアの活動状況、特殊詐欺発生情報等の情報を発信した。  ○各キャンペーンやイベント時に安まちメールの登録勧奨を実施した。  ○犯罪発生マップの有効活用による積極的な情報発信を実施した。  ６　庁内ウェブページ等を活用した府警職員の防犯意識の向上や防犯活動への参加促進  ○情報提供ネットワークシステム（安まちメール、警察署ホームページ、犯罪発生マップ）を改修し、防犯活動への参加意識の向上を図った。  ７　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  ○発生情勢を加味した、効果的な防犯教室、キャンペーンなどの実施  ・防犯ボランティア、自治体、警察署等と連携した各種キャンペーンを実施し、防犯意識の高揚を図った。  ・事業者、関係団体等に対し、防犯活動参画に向けた働き掛けを実施した。  ８　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーンの実施  ○8.8大阪を安全・安心に「ALL大阪で犯罪のないまちを目指して」のイベント及び全国地域安全運動大阪府民大会を実施した。  ９　地域安全マップの普及促進  ○自治体及び教育委員会との連携を強化し、「地域安全マップ」の普及促進を積極的に実施した。  10　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークの構築  ○構築促進及び活動の活性化の支援  ・各種会議等での研修・講演、声掛け活動時の同行指導等、既構築の少年非行防止ネットワークに対する支援を実施した。  11　少年の非行及び犯罪被害防止活動の実施  ○少年非行及び犯罪被害の未然防止活動の推進  　　・歓楽街や商業施設等において少年警察ボランティア等と合同補導を実施した。  　　・福祉犯被害の未然防止を目的に、歓楽街において、深夜帯の特別補導を実施した。  　　・サイバー補導において、援助交際や下着販売をしようとしていた少女を補導する等、少年を福祉犯被害から守る活動を推進した。  ○有害環境浄化対策の推進  ・JKリフレ等、児童の性を売り物とする新たな形態の営業店舗等に対する　実態調査を行うなど、有害環境浄化対策を推進した。  12　小・中学校における生徒指導体制の強化  ○学校との連携強化  　　・スクールサポーターによる学校への訪問活動等を活発化させ、  学校との連携強化を図った。  ・大阪市教育委員会と連絡制度の協定締結に向けた協議を行った。  13　少年警察ボランティア及び青少年指導員との連携  ○少年警察ボランティア及び青少年指導員と連携した少年非行防止対策の推進  ・少年指導委員と連携して風俗営業所への立入りを実施した。  ・夏休み期間や卒業式等に、少年警察ボランティア及び青少年指導員と合同補導を実施した。  14　青少年健全育成条例等の効果的な運用  ○インターネット利用に関する教育及び広報啓発活動の推進  ・啓発リーフレットを作成し、非行防止教室等の機会に学生や保護者  に配布するなどして、広報啓発活動を実施した。  ・進級・進学時期における、保護者説明会等を活用し、フィルタリング利用促進に向けた広報啓発活動を実施した。  ○少年を取り巻く社会環境の整備  ・少年非行防止協力店制度への加入を促進するとともに、既加入店舗に対する研修会を実施した。  ・青少年の夜間立入制限施設の条例遵守状況について、立入調査を実施した。  15　少年非行統計に基づく街頭補導活動等各種少年非行防止活動の推進  ○少年非行統計の分析及び効果的な活用  ・少年の溜まり場、い集する時間帯等の分析情報を少年警察ボランティア等と共有し、街頭補導活動等各種少年非行防止活動に活用した。  16　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発  ○効果的な広報啓発活動の推進  　　・自治体、事業者、少年警察ボランティア等と協働して、非行防止大会、キャンペーン等の広報啓発活動を実施した。  ・ケーブルテレビ、FMラジオ、大型電光掲示板等各種広報媒体を活用し、広報啓発活動を実施した。  17　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  ○少年個々の特性に応じた立ち直り支援活動の実施  ・学習支援やスポーツ教室等、少年個々の特性に応じた立ち直り支援活を実施した。  ○少年に手を差し伸べる活動の推進  ・問題を抱えた少年及び保護者に対して、積極的に働きかけ、立ち直り支援活動を実施した。  ○科学的アプローチを用いた立ち直り支援活動の実施  ・対象少年等に対して、臨床心理士等の資格を有する少年補導職員による心理テストを実施し、科学的根拠に基づいた立ち直り支援活動を実施した。  18　まちぐるみでの子ども見まもり活動の促進  ○地域住民、企業に対する働き掛け  　　・各種キャンペーン等を通じて、防犯ブザーの普及促進を図った。  　　・各種会合等の機会を有効活用し、子どもの安全見まもり活動への  参画に係る働き掛けを実施した。  ○犯罪の発生時間・場所等を踏まえ、大阪府警察スクールサポーター等を効率的に運用するとともに、防犯ボランティアと緊密に連携し、防犯ボランティア活動の活性化を図った。  19　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  ○小学校高学年に重点を置いた非行防止教室等の実施  ・大阪市内のほぼ全ての小学校において非行防止教室・犯罪被害防止教室を実施した。  20　繁華街等における防犯設備の整備  ○商店街等との連絡会議等を通じた働き掛けにより、防犯カメラが増設された。  ○歓楽街に設置された既設防犯カメラシステムを維持・管理した。  21　地域における防犯カメラ等効果的な防犯設備の普及促進及び整備  ○防犯カメラの設置促進  ・自治体等に対して防犯カメラ等防犯環境整備に向けた働き掛け及び管轄警察署との協定の締結等に係る支援を実施した。  ・既設防犯設備の整備、管理に関する働き掛けを行った。  ○大阪府防犯設備士協会と連携して「防犯モデルマンション登録制度」、「防犯モデル駐車場登録制度」の普及促進を図った。  22　交差点カメラの設置による、犯罪等の抑止対策の推進  ○交差点カメラの設置  ・交差点カメラの設置により、ドライバーの安全運転気運を  醸成した。  ・平成29年度は４警察署（都島、東、阿倍野、住吉）に  計10台設置した。  23　官公庁、交番等への防犯カメラ等の設置による地域の安全の確保  ○大阪市内146箇所の交番における防犯カメラを維持・管理した。  24　住まいの防犯対策の普及  ○ポスター、リーフレット等を活用して、「防犯モデルマンション登録制度」及び「防犯モデル駐車場登録制度」を普及促進させるための広報啓発活動を実施した。  ○「大阪府防犯優良戸建住宅認定制度」及び「大阪府防犯優良低層マンション認定制度」を普及促進させるために、住宅侵入犯罪等抑止対策協議会と連携して、防犯キャンペーンやホームページ等による広報啓発活動を実施した。  25　ひったくり防止カバーの普及促進  ○ひったくりの発生実態に応じた防止カバー普及・毎月１１日の「ひったくり防止デー」等において、自治体、関係機関、事業者等と連携して取付キャンペーンを実施した。  ・キャンペーン等において、学生防犯ボランティア、自治体職員等を参加させる取組を行った。  ・協力団体等に対し「若い世代の女性に好まれるデザイン」の防止カバー製作の働き掛けにより、新規カバーを製作した。  ・各種会合における防犯教室、府警ホームページ等で広報啓発を実施した。  26　子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  ○声かけ等の性犯罪等前兆事案に対する初動捜査を徹底の上、早期に行為者を特定して指導・警告を実施し、性犯罪等の未然防止を図った。  ○再犯防止措置対象者に対する所在確認や面談を行うなど、再犯の未然防止を図った。  ○子どもや女性を守る機運の醸成  ・防犯ブザーの配布や各種防犯教室を実施するなどして、子どもや  女性を犯罪から守る機運の醸成を図った。  ・府警ホームページ「犯罪発生マップ」に「女性被害情報」の項目を追加した。  ○大阪府教育庁と連携して各自治体等の学校安全に関する指導者に  対し、講習会を実施した。  ○通勤通学時間帯において、鉄道警察隊、鉄道事業者等と連携して列車内ちかん追放キャンペーンを実施するなど、性犯罪被害防止に向けた効果的な広報啓発活動を実施した。  27　サイバー犯罪被害防止対策の推進  ○インターネットバンキングに係る諸対策  ・金融機関の顧客に対する被害防止対策を推進した。  ・大阪に本社を置く金融機関と共同対処の協定を締結した。  ・悪用される口座の供給源を遮断する取組を推進した。  ○サイバー犯罪の手口に関する関係機関との情報共有を実施した。  ○広報啓発活動の実施  ・留学生等に対する防犯教室を実施した。  ・サイバー防犯ボランティアの拡充（新規１団体）及び活動支援を実施した。  ・デジタルサイネージを利用した広報啓発活動を推進した。  ・在日ベトナム人を対象とした日本語学習アプリ等において、口座売買の禁止に関する注意喚起文等を掲出した。  28　特殊詐欺被害防止対策の推進  ○被害防止に関する広報啓発活動の実施  ・特殊詐欺被害防止啓発ＤＶＤを作成し、各自治体、警察署、金融機関等に配付した。  ・各自治体等と協働し、広報啓発を実施した。  ・警察署及び自治体のホームページにおいて、特殊詐欺に関する注意喚起と主な手口、現状、防止方策等を紹介した。  ・特殊詐欺の具体的な防犯対策が盛り込まれたチラシ等を作成し、広報啓発を実施した。  ・駅構内やスーパー店内等において、広報啓発を実施した。  ・各種キャンペーンや防犯教室等を実施した。  ○防犯機器の普及促進  ・留守番電話や防犯機能付電話機等の活用を推奨し、被害防止活動を推進した。  ○消費生活センターとの連携  ・警察庁から還元された名簿登載者に対してハガキの郵送による  注意喚起を実施した。  ・特殊詐欺被害防止コールセンターを開設し、電話による注意喚起を  実施した。  29　水際対策の強化推進  ○金融機関職員等に対して「声かけ訓練」や具体例を交えた防犯指導等を実施し、未然防止対策を推進した。  ○大阪府信用金庫協会等各協会に対して高齢者に対するＡＴＭ振込制限の働き掛けを実施した。  ○無人ＡＴＭに対する特別警戒を実施した。  30　だまされないための電話対策の推進  ○高齢者や高齢者の親族等に対し、自宅固定電話番号の変更並びに  留守番電話及び防犯機能付電話機等の活用を推奨した。  31　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  ○被害防止の広報啓発  ・発生実態に応じてツイッター等による情報発信を実施した。  ・各種団体に働き掛けて、ビニール懸垂幕等を製作・配布した。  ○関係団体・企業等への協力要請  ・「大阪府自動車盗難等防止対策協議会」総会を開催し、各種防犯対策への協力を働き掛けた。  ・防盗性能の高い自動車の開発及び防犯器具普及について働き掛けを実施した。  32　駐車場・駐輪場設置者等への防犯設備の整備に係る啓発、協力要請  ○「大阪府自動車盗難等防止対策協議会」総会の開催  ・防犯環境の整備に向けた関係団体に対する働き掛けを実施した。  ・駐車場管理団体等に対し、防犯カメラ等防犯設備の普及促進を  図った。  ・防犯モデル駐車場登録制度の普及促進を図った。  ○事業者等に対し、防犯啓発物品の作成等、防犯活動への参画を働き掛けた。  33　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付の啓発・指導  ○自転車盗難防止に向けた意識啓発の高揚  ・子どもの安全見まもり活動時等の様々な機会を捉え、自転車の  鍵掛け等について広報啓発を実施するとともに、不正開錠に強いシリンダー錠等を推奨した。  ・高校生による自転車の盗難被害防止をテーマにした取組発表を  実施し、優秀校に対して表彰を実施した。  ・中学生に対して、自転車の盗難被害防止をテーマにした川柳を  公募し、優秀者に対して表彰を実施した。  ・自転車販売店に対し、自転車購入者に対する「鍵かけの励行」や  「施錠設備の取付け」等の広報資料の配付及び注意喚起の実施について働き掛けた。  ・最も被害に遭っている中高生を対象に、防犯教室等を継続して  実施した。  ○「大阪府自転車盗難防止対策協議会」との連携  ・防犯登録未登録者に対し、防犯登録の普及促進を図った。  ・錠前メーカーに対し、防犯性能の高い錠前及び施錠設備のない  折りたたみ自転車等に装備可能な錠前の開発を働き掛けた。 | |

平成30年度　構成団体活動計画

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 | 平成30年度活動計画 |
| 大阪市工業会連合会 | １　市工連会員である地域工業会・産業会に対し、各地域で開催される  　キャンペーンやイベントへの積極的な参画を依頼する。  ２　各種防犯対策キャンペーンイベントなどを市工連ホームページで広報するとともに市工連会員である地域工業会・産業会を通じて広報する。  ３　啓発冊子やリーフレットの掲示・配架を行うとともに市工連会員である地域工業会・産業会に対して掲示・配架、会員企業への配布を依頼して周知を図る。 |
| 大阪市子ども会育成連合協議会 | １　「子どもの生命と安全を守る」活動  　・子どもの生命と安全を守る講習会等実施  　・子どもと話そう３６５  　・安全教育の推進  ２　各区子ども会において、警察等を迎えての防犯教室や交通安全教室の実施  ３　各区子ども会においての見守り隊の協力 |
| 大阪市社会福祉協議会  大阪市ボランティア・市民活動センター | ○　防犯推進月間における各種防犯PRを行う。  ○　各区社会福祉協議会において、地域の防犯ボランティア団体等と連携を図りながら、地域における防犯活動に参加する等の取組みを継続して実施する。 |
| 大阪市商店会総連盟 | １　各商店街で区役所等と連携し、啓発物の配布･掲示を実施する。  ２　各区のイベント等において、市民へ安全･安心を呼びかける防犯啓発活動を実施する。 |
| 大阪市身体障害者団体協議会 | １　障害者週間キャンペーン  　　「共生社会の実現」「障害に関する理解の促進」等をテーマとして大阪市各区の障がい者が主体的に参加し、区役所・駅・主要ターミナルで啓発物品を配布し、啓発活動の展開を図ります。  　　　　・障害者週間―毎年12月3日～9日  　　　　・啓発物品―ポケットティッシュ  　　　　　　「何かお手伝いしましょうか？」と声をかける  　　　　　　“一声バリアフリー”にご協力を！  　　　　・参加人数―大阪市内各区10～30名 |
| 大阪市青少年活動協会 | １　知識の普及  　　引き続き、安全のための知識を普及するために、青少年活動指導者対象の研修会や講座を開催し、また、依頼があれば講師として「指導者がおこなう安全管理のチェックポイント」や「ＫＹＴ（危険予知トレーニング）の活用」などの指導をおこないます。  　　また、自然体験活動の理解を深め、防災のノウハウや対応策を学ぶことで、体験的な防災教育を推進できる人材育成をおこないます。  　・（一財）大阪教育文化振興財団「地域こども体験活動事業」講師登録  　・青少年活動リーダースクール  　　野外活動指導者養成講習「野外活動における安全管理」  　・大阪市私立保育園連盟キャンプ研修会  　　リスクマネジメント「キャンプにおけるリスクマネジメント」など  ２　防犯カメラの設置  　　指定管理者として管理・運営をおこなっている、大阪市立長居ユースホステル（東住吉区）においても、引き続き設置した監視カメラにより、犯罪防止効果を高めます。 |
| 大阪市青少年指導員連絡協議会 | ○　指導ルーム活動の実施  　　毎月２５日を「統一指導ルームの日」と設定して、市内全域で夜間巡視を継続していきます。 |
| 大阪市青年団体協議会 | １　会合や事業参加への行き帰りの注意喚起（歩きスマホの自粛、ひったくりへの注意）  ２　啓発冊子の配布と内容説明  ３　推進月間の広報  ４　加盟団体地域の安全運動推進活動への参加 |
| 大阪市地域女性団体協議会 | １　女性学習会を通じた「地域における安全・安心なまちづくり」に　　ついての学習および啓発  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起 |
| 大阪市地域振興会 | ○　各区において、防犯ボランティア活動を展開し、区役所、警察署、  各防犯ボランティア団体と連携を図りながら、今後も防犯活動を展開する。 |
| 大阪市手をつなぐ育成会 | １　子ども安全見守り活動への協力  　所管施設において「こども110番の家」のステッカーを掲示し、子どもの安全確保に協力する。  ２　防犯パトロール活動への協力  　　所管施設所在の連合町会と協力して防犯提灯の設置および年末警戒パトロールに参加する。  ３　犯罪抑止活動  　所管施設前の生活道路の清掃を兼ねて犯罪抑止の見守りを行う。 |
| 大阪市PTA協議会 | ○　理事会・研修会の際、安全なまちづくりに関する事例発表、資料を配付し、各校園ＰＴＡ、各区ＰＴＡ協議会との連携を深める。 |
| 大阪府防犯協会連合会  大阪府防犯協会連合会 | １　地域安全運動・歳末警戒の実施  　○春と秋の地域安全運動及び歳末警戒の実施  　○全国地域安全運動大阪府民大会の開催（警察との共催）  　○２・２「安全なまち大阪・実現への挑戦」の開催【新規】  ２　広報啓発活動の実施  　○「大阪府安全なまちづくり推進会議」「大阪市安全なまちづくり推進協議会」、防犯設備士協会、質屋防犯対策協議会等と協働した活動の推進  　○機関紙「防犯おおさか」での広報啓発（年３回発行）  　○「安全なまちづくり（地域安全活動）」、地域安全運動及び歳末警戒時のチラシ・グッズ等の作成配布  　○ホームページの運営（犯罪発生状況、安全なまちづくり関係など）  　○暴力団排除活動の推進（暴力団追放府民大会の後援等）  　○覚醒剤、危険ドラッグ等薬物乱用防止の広報  　○特殊詐欺及び悪質商法の被害防止広報（高齢者対策の推進）  　○自転車防犯登録制度の勧奨と鍵掛けツーロック運動等の推進  　○防犯関連図書、防犯手帳、その他各種防犯資料の斡旋  ３　防犯団体への支援活動  　○防犯団体が実施する防犯対策・活動等への助言・支援活動  　○防犯団体等へのＤＶＤ等貸し出し  ４　防犯ボランティア活動の活性化  　○防犯功労者に対する各種表彰  　○地域交流会の開催による相互啓発と自治体・警察との接点づくりの提供による活動の継続及び発展の意識づけ、活動支援環境の充実  　○「学生ボランティア育成支援活動」の推進による防犯ボランティアリーダーの育成  ５　防犯キャンペーンへの支援  　　ひったくり防止カバー、防犯ブザー等の配布、  盗難防止ネジ等の斡旋  ６　防犯設備及び資機材の普及促進  　○防犯建物部品（CPマーク）等の優良防犯器具の普及促進  　○防犯モデルマンション、防犯モデル駐車場、防犯器具等登録制度  の普及促進  　○古物営業等の標識、台帳及び迷惑防止看板等の斡旋  ７　有害環境浄化に向けた取組  　○風俗営業所管理者対象の定期及び処分時講習の実施（受託事業）  　○風俗営業許可及び構造、設備変更申請に伴う営業所等の調査(受託事業)  ８　大阪府警察防犯対策高度化協働研究会への参画【新規】 |
| 大阪市保護司会連絡協議会 | ○　市内24区、地区保護司会の保護司が自地区において、特殊詐欺被害防止の周知と理解を促す犯罪予防活動を展開する。  ○　区民まつりなどのイベント会場や街頭において、イベントの参加者や街頭を通行する市民を対象に啓発活動を実施する。  ○　各地区保護司会に広報・啓発用の活動物品を配布する。  ○　平成25年より実施、蓄積しているアンケートを今年度も実施し、啓発活動の効果を確認する。 |
| 大阪市民生委員児童委員協議会 | １　地域の子どもたちを犯罪から守るため、地域内の各団体と協力して登下校の見守りを実施  ２　夏休み期間に、夜回りを実施(数区にて実施)  ３　ひったくり、振り込め詐欺などの特殊詐欺の注意喚起 |
| 大阪市老人クラブ連合会 | １　高齢消費者被害防止講習会の開催  ２　交通安全大会・講習会等への参加  ３　ひったくり等についての注意喚起  ４　特殊詐欺についての注意喚起及び講習会の開催 |
| 大阪青年会議所 | ○　防災に関する会員への啓発 |
| 大阪府警備業協会  大阪府警備業協会 | 「安全なまち大阪」の確立に向けた公的事業に対する積極的な参加・推進を平成30年度の事業計画に掲げ、次の活動を実施する。  １　地域社会の安全と安心の確保に貢献するため、街頭犯罪をはじめとする各種犯罪等の未然防止活動の実施  ○「街頭犯罪及び特殊詐欺の抑止」を主眼とした、協会独自の取り組みとしての防犯広報・啓発活動の実施  ２　各種事件事故防止活動時等における防犯意識の普及・啓発活動の実施  ○全国地域安全運動府民大会への参加  ○大阪安全なまちづくりキャンペーンへの参加  ○会報等への「安全なまちづくり」に関する活動等の掲載  ○「防犯・防災総合展 in KANSAI 2018」への参加による防犯意識の普及啓発の実施  ○所轄警察署防犯協会への活動支援  ３　子どもを守る活動の実施  ○「大警協安全安心まちづくりメール」による子どもを守る活動  　の実施 |
| 大阪府錠前技術者防犯協力会 | １　新事業として各団体並びに法人を対象とした「防犯パートナー・シップクラブ制度」を創設し、より「侵入盗防止」の広報啓発活動を促進する。  ２　平成29年度の活動を本年度も積極的に推進する。 |
| 大阪駐車協会 | １　大阪府安全なまちづくり街頭キャンペーンへの参加  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起 |
| 大阪府防犯設備士協会  大阪府防犯設備士協会  大阪府防犯設備士協会 | １　大阪府等が実施する安全・安心なまちづくりへの積極的参画  （１）府・市町村安全なまちづくり推進会議（協議会）及び幹事会への積極的な働きかけ  大阪府安全なまちづくり推進会議等への参画を通じ、防犯対策の重要性を訴え、専門的立場で積極的な助言等を行い、街頭防犯カメラの設置等具体的な形で各市町村が実施する安全・安心なまちづくりに貢献する。  （２）警察等が推進する地域安全運動等への参加  　　　警察等が行う地域安全活動へ積極的に参加するとともに、府民の要請に応じ、防犯診断、防犯指導を実施する。  （３）一般住宅への侵入犯罪抑止活動の強化  　　　住侵協の決定により、大阪府防犯優良戸建住宅認定制度が一般に公開されることになり、「トリヴェール和泉はつが野メグリエシティ」へもこの制度が適用されており、大阪府警察本部、住侵協及び住宅生産振興財団との連携のもと、この制度の普及・促進を図るとともに、大阪府防犯優良低層マンション認定制度の積極的な推進及び防犯性能を備えた大阪府防犯モデルマンション登録制度の支援を強化し、住宅侵入犯罪の抑止活動に貢献する。  （４）万引防止対策の普及・促進  ２月16日、「大阪万引き総合対策協議会」が結成され、当協会もそのメンバーとして参画した。大阪府警を始め、万引防止会議のメンバーと連携し、防犯機器を中心とした万引防止対策の普及・促進を図る。  （５）自動車盗難等の防止活動の推進  ３月６日、「大阪府自動車盗難等防止対策協議会」が開催され、それぞれの立場で対策を推進することとなり、府警を始め、同協議会のメンバーと連携し、駐車場への防犯カメラの設置の促進やナンバープレート盗難防止ネジの普及及び防犯機器等を中心とした自動車関連犯罪の抑止活動強化を図る。  ２　優良防犯設備・機器設置の促進及び広報啓発の推進  （１）優良防犯設備・機器等の設置及び維持管理  　　　大阪府を始め、市町村等推進する防犯対策の一環としての街頭防犯カメラの設置など、府民、自治体、事業者等の依頼に基づく優良防犯設備等の設置などを中心とした地域のインフラの整備に積極的に取り組む。  （２）優良防犯設備機器・システムの広報啓発の推進  　　　防犯設備・機器のセミナー等を開催し、優良防犯機器認定制度（ＲＢＳＳ制度）など、最新の防犯設備機器・システムの普及促進及び知識の啓発に努める。  （３）常設展示場の設置と各種イベントへの積極的参加  　　　曾根崎警察署地下の大阪府警広報コーナーに設置の防犯設備・機器常設展示場は維持するとともに、各種イベントへ積極的に参画し、優良防犯設備機器の展示、防犯相談コーナーの開設や防犯講話の実施を通じて、当協会の活動及び優良防犯設備機器・システムの広報啓発に努める。  ３　 協会体制の充実強化と事業内容等の広報宣伝活動の活性化  （１）協会体制の充実強化  （２）事業内容等の広報宣伝活動の活発化  　　　昨年「広報委員会」を設置し、ホームページの有効活用をはじめ、協会広報啓発用パネルの作成展示など、広く府民に協会の事業内容及び活動状況を広報啓発する。また、報道機関への積極的なアプローチ、関係団体の機関誌等への掲載等を積極的に展開する。  ４　 防犯対策支援のための高度な知識を持つ人材の育成と技術の向上  （１）防犯設備士養成講習等の支援  　　　（公社）日本防犯設備協会が行う防犯設備士養成講習等を支援し、防犯設備士の養成及び能力向上に努めるとともに、総合防犯設備士等指導者の養成に努める。  （２）防犯設備アドバイザーの拡充と技術・能力の伝承  総会時の防犯セミナー及び防犯設備アドバイザーに対する講習会や実地教育を通じて防犯設備アドバイサーの能力向上を図ることにより、当協会の専門性と指導性への信頼を高める。特に、世代交代を図るため、防犯診断や防犯講話の技術・能力の伝承を図るための機会を作る。 |
| ガールスカウト大阪府連盟 | １　随時　指導者研修を行い、活動時の安全については必ず指導する。  ２　ガールスカウト活動を通じて、地域社会における危険と安全を体験し、少女と若い女性の心を育てる。  ３　ＳＮＳなどの個人情報の扱い方の注意点の確認  ４　ガールスカウト日本連盟発行「子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン」を成人会員に周知する。 |
| 日本郵便株式会社  大阪北郵便局 | １　広報啓発物の掲示等の推進  ２　こども110番  ３　大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定に基づく地域づくりの推進 |
| 大阪府  大阪府  大阪府  大阪府  大阪府  大阪府  大阪府 | １　大阪府安全なまちづくり推進会議の取組  　○　総会の開催  　　・オール大阪の安全なまちづくりに向けた目標の設定  　　・「特殊詐欺の被害防止」「子どもや女性を狙った性犯罪の被害防止」  　　　「ひったくり・路上強盗の被害防止」「自動車を狙った犯罪の被害防止」    ○防犯キャンペーンの実施  　　　府民の自主防犯意識の向上を図るため、６月に防犯展示会の出展、安全な  　　まちづくり推進月間（10月）に防犯キャンペーンを実施する。  ２　地域安全センターの活性化  　○地域安全センター自立支援事業の実施  　○警察・市町村と連携した地域安全センター定着化・活性化の促進  　○治安対策ニュース、府ホームページなど各種広報媒体を活用した地域安全  　　センターの好事例・好取組の広報  　○子供の安全見守り隊活動等地域防犯活動の活性化  ３　企業における社会貢献活動への取組の促進  　　企業における防犯活動の取組みの働き掛けを実施する。  ４　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発の推進  　　地域における防犯活動の中心となる防犯リーダーの育成を行う。  ５　青色防犯パトロール活動の促進  　　事業者団体への青色防犯パトロール車両寄贈の働きかけと、  寄贈された車両の市町村への配分を行う。  ６　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、  防犯ボランティア支援など積極的な情報の提供  　○防犯ボランティアの取組事例の紹介  　○大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰受賞団体の紹介  ７　基礎自治体との連絡調整  　○市町村防犯担当者連絡調整会議の開催  　○自治体への犯罪情報の提供  　○防犯環境整備状況の把握・資料化と情報共有  ８　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  　○犯罪情勢に合わせた、自治体への働き掛け、防犯研修、  キャンペーン等の実施  　○事業者と連携した社員に対する特殊詐欺被害防止研修の実施  ９　実践的・体験型交通安全事業の実施  　○効果的な交通安全講習の実施  　　自転車シミュレータの活用を行う。  10　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーンの実施  　○安全なまちづくり推進月間における府内の防犯気運の醸成、キャンペーンの実施  　○大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰の実施  11　地域安全マップの普及促進  　　地域安全マップ作成マニュアルなどの情報提供による、「地域安全マップ」の普及を促進する。  12　府民に対する「治安対策に向けたアンケート調査」の実施  　　「おおさかＱネット」を活用した治安対策に関する調査の実施  13　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークの構築と活動支援  　○少年非行防止活動ネットワークの構築と活動支援  　　未構築の市区町村への重点的な働きかけと既構築の市区町村への活動支援を実施する。  14　少年の非行及び犯罪被害防止活動の実施  ○深夜における声掛け活動等の実施  　　　夜間等における街頭巡回活動に同行（少年非行防止活動ネットワークへの活動支援）する。  15　小・中学校における生徒指導体制の強化  　　小学校高学年に対する非行防止教室等を実施する。  16　少年警察ボランティア及び青少年指導員との連携  　○少年警察ボランティアと青少年指導員の連携  　　少年非行防止活動ネットワークにおける連携を行う。  17　青少年健全育成条例等の効果的な運用  　○有害環境浄化活動の促進  　　・キタ・ミナミ等繁華街の夜間立入制限施設への条例遵守状況調査  　　・有害図書類等の区分陳列等の遵守状況及び図書類等自動販売機の遵守状況調査  　○スマートフォン等を介した被害の防止に向けた取組の促進  　　・青少年のフィルタリングの利用促進に向けた教育・啓発活動  　　・青少年のネット・リテラシー向上に向けた教育・啓発活動  　　・携帯電話販売店舗への条例遵守状況調査の実施  18　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発  　○様々な広報媒体を用いて効果的な広報の推進  　　・「少年非行・被害防止強調月間、暴走族追放強調月間」  　　・少年非行防止対策関係会議への参画  19　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  　〇少年個々の特性に応じた立ち直り支援の実施  　　学習支援、スポーツ教室や職場体験などを取り入れた少年個々の特性に応じた立ち直り支援活動を実施する。  20　少年非行防止に向けた保護者・家庭への支援  　○関係機関との連携と保護者・家庭への支援  　　少年サポートセンター育成支援室の立ち直り支援を通じた保護者・家庭への支援を実施する。  21　無職少年に対する自立・就労支援  　　OSAKAしごとフィールドにおいて大阪府地域若者サポートステーションと一体的に支援を実施することにより若年無業者の職業的自立支援を実施(245,835千円)  22　まちぐるみでの子ども見まもり活動の促進  　○事業者団体と連携した防犯ブザーの普及  　○子ども安全見まもり活動への参画の働き掛け  23　こども110番運動の活性化  　○こども110番運動に関する広報の実施  　○「動くこども110番」活動の推進  24　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  　○小学校高学年に対する「非行防止・犯罪被害防止教室」の実施  　　・小学校段階での規範意識の向上を図るため、府内全小学校での非行防止教室等の実施  25　道路・公園における防犯環境の整備  　○防犯環境の整備  　　・府営駐車場内の、監視カメラ等による監視体制の維持、防犯掲示ポスターの掲示  　　・府営公園での指定管理者による日常巡視点検  　○平成30年度においては、万博公園駐車場出庫口及び  外周道路等８ヵ所11台の防犯カメラの設置を進める。  26　自転車通行環境の整備  　　自転車通行空間の整備  27　無電柱化（電線共同溝）事業の促進及び美観形成等による交通・防犯環境の整備無電柱化を推進する。  28　地域における防犯カメラ等効果的な防犯設備の普及促進及び整備  　自治体に対する防犯カメラ等の防犯環境整備の働き掛け及び設置に係る各種支援を実施する。  29　住まいの防犯対策の普及  　○「防犯モデルマンション」、「防犯モデル駐車場」の普及促進  　　大阪府防犯協力会連合会と連携した広報啓発活動を実施する。  　○住宅侵入犯罪等抑止対策協議会と連携したキャンペーン等を実施  30　ひったくり防止カバーの普及促進  　　ひったくりの発生実態に応じた防止カバー普及促進  31　子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  　○事業者団体と連携した防犯ブザーの普及  　○こども110番運動の広報啓発による「こども110番の家」、  「動くこども110番」の普及促進  　○女性に対する性犯罪被害防止研修・キャンペーン等の実施  　○府内企業における防犯研修の実施  32　サイバー犯罪被害防止対策の推進  　○インターネットバンキングに係る諸対策  　　金融機関の顧客に対する被害防止対策を推進する。  　○サイバー犯罪の手口に関する関係機関との情報共有  　　・詐欺サイト及び偽サイトに関する情報の共有  　　・サポート詐欺やビジネスメール詐欺等、新たなサイバー犯罪の手口に関する情報の共有  33　特殊詐欺被害防止対策の推進  　○特殊詐欺被害防止緊急対策事業による市町村への特殊詐欺対策機器の普及促進  　○府内各部局、警察、自治体、事業者等と連携した被害防止に関する広報啓発の実施  34　だまされないための電話対策の推進  　○自治体に対する特殊詐欺対策機器貸出事業の予算化に向けた働き掛け  　○府ホームページ等における特殊詐欺対策機器の紹介  35　生活保護をはじめとする不正受給事犯対策  　○生活保護制度の適正化に向けた働き掛け  　　　生活保護の実施機関に対する必要な指導を行う。  36　高齢者の見守り活動の充実など支援体制の充実  　○警察本部等と連携した見守り強化のための啓発  　　・全事業者向けの、見守り者啓発のリーフレットを作成・配布し、  府警本部や治安対策課等と連携し、コンビニエンスチェーン加盟　店舗やスーパーマーケットを中心として、幅広く地域における事業者の見守り者としての意識を高めるための啓発を実施  　○公民一体の高齢者の見守り活動の推進  　　・「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」の締結及び同協定に基づく取組の推進  　　・リーフレット等による広報啓発  　○福祉部と連携した福祉従事者の見守り強化のための啓発  　　・福祉部等の実施する会議等の場で、福祉関係従事者に消費の見守りに関する冊子を配布し、説明を実施  37　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  　○関係団体・企業と連携した広報啓発活動の実施  　○府ホームページを活用した広報の実施  38　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付の啓発・指導  　　市町村と連携した自転車盗難防止に関する広報啓発を実施する。  39　重層的なネットワークを活用した自転車盗防止対策の推進  　　「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」を活用した自転車盗難防止対策を実施する。  40　地域における規範意識高揚キャンペーン（自転車の放置、無灯火、二人乗り等の追放）の推進  　○「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づいた活動の推進  　　・広報啓発の連携  　　・条例内容の周知啓発  　　・自転車マナーアップ強化月間（１１月実施予定）等の活用  41　薬物乱用防止啓発活動  　○薬物乱用防止の広報啓発  　　・薬物乱用防止の指導・教育を充実強化  　　・各種啓発キャンペーンの実施  　　・府政だより等による広報  　○学校における薬物乱用防止教育  　○環境整備５カ年計画における薬物対策事業  　　・薬物汚染のない街を目指す  　　・啓発ポスターの掲出  42　自転車のマナーアップ向上に向けた駐輪場の整備・設置の促進  　○放置自転車追放の気運を高めるための広報啓発活動を推進  　　自転車マナーアップ強化月間及び駅前放置自転車クリーンキャンペーンを活用する。  　○自転車駐車場の調査及び情報提供  　　　各市町村との情報共有を行う。  43　違法駐車排除活動の活性化  　　広報啓発活動を推進し、府民意識の向上を図る。  44　不法投棄監視の充実  　○地域住民との協働  　　地域と連携した安全なまちづくりを推進する。  　○落書き消し活動の推進  　　大阪のイメージアップの向上を図る。 |
| 大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部  大阪府警察本部 | １　地域安全センター等への活動支援  ○地域安全センターの活性化の促進  ○子どもの安全見まもり隊活動等地域防犯活動の活性化  ○地域安全センターの実態を踏まえた効果的な活用推進  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  ○事業者のCSR活動への参加促進  ３　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発の推進  ○大学生等の防犯ボランティア団体設立によるボランティア活動の拡充  ○若手防犯ボランティアの主体性を醸成するための支援の実施  ○自治体、事業者等による防犯ボランティア団体への支援活動の促進  ○防犯ボランティア団体相互の連携に向けた支援の実施  ４　青色防犯パトロール活動の促進  ○青色防犯パトロール活動の促進  ○犯罪等発生実態に即した青色防犯パトロール活動の働き掛け  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボランティア支援など積極的な情報の提供  ○先進活動事例、イベント、犯罪情報、防犯対策情報等の提供  ○安まちメールの登録勧奨  ○犯罪発生マップの有効活用  ６　庁内ウェブページ等を活用した府警職員の防犯意識の向上や防犯活動への参加促進  ○職員の防犯意識向上や防犯活動への参加促進  ７　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  ◯犯罪発生実態に即した効果的なキャンペーン等の実施  ８　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーンの実施  ○地域安全運動等の気運醸成、防犯意識の高揚のための表彰、キャンペーンの実施  ９　地域安全マップの普及促進  ○マップ作成マニュアル等の情報提供  ○地域安全マップの作成  10　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークの構築  ○活動実態に即した支援の実施  11　少年の非行及び犯罪被害防止活動の実施  ○少年非行及び犯罪被害の未然防止活動の推進  ○有害環境浄化対策の推進  12　小・中学校における生徒指導体制の強化  ○学校との連携強化  13　少年警察ボランティア及び青少年指導員との連携  ○少年警察ボランティア及び青少年指導員と連携した少年非行防止対策の推進  14　青少年健全育成条例等の効果的な運用  ○インターネット利用に関する教育及び広報啓発活動の推進  ○少年を取り巻く社会環境の整備  15　少年非行統計に基づく街頭補導活動等各種少年非行防止活動の推進  ○少年非行統計の分析及び効果的な活用  16　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発  ○効果的な広報啓発活動の推進  17　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  ○少年個々の特性に応じた立ち直り支援活動の推進  ○少年に手を差し伸べる活動の推進  ○科学的アプローチを用いた立ち直り支援活動の推進  18　まちぐるみでの子ども見まもり活動の促進  ○地域住民、企業等に対する働き掛け  ○犯罪の発生時間・場所等を踏まえた防犯ボランティア活動の活性化  19　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  ○小学校高学年に重点を置いた非行防止教室等の実施  20　繁華街等における防犯設備の整備  ○歓楽街（繁華街）の商店街等に対する防犯カメラ等の設置促進  ○既設防犯設備の維持・管理  21　地域における防犯カメラ等効果的な防犯設備の普及促進及び整備  ○通学路、公園等を中心とした防犯カメラの設置促進  ○都市の整備事業に伴う防犯環境整備の促進  22　交差点カメラの設置による、犯罪等の抑止対策の推進  ○交差点カメラの設置  23　官公庁、交番等への防犯カメラ等の設置による地域の安全の確保  ○交番における防犯カメラの管理  24　住まいの防犯対策の普及  ○「防犯モデルマンション登録制度」及び「防犯モデル駐車場登録制度」の普及促進  ○「大阪府防犯優良戸建住宅認定制度」，「大阪府防犯優良戸建外構認定制度」及び「大阪府防犯優良低層マンション認定制度」の普及促進  25　ひったくり防止カバーの普及促進  ○ひったくりの発生実態に応じた防止カバーの普及  26　子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  ○前兆事案に対する迅速な対応  ○再犯防止措置対象者に対する再犯防止対策の推進  ○子どもや女性を守る機運の醸成  ○研修会等の実施  ○性犯罪被害防止に向けた効果的な広報啓発活動の推進  27　サイバー犯罪被害防止対策の推進  ○インターネットバンキングに係る諸対策の推進  ○サイバー犯罪の手口に関する関係機関との情報共有  ○サイバー防犯ボランティアの更なる拡充と活動支援  ○広報啓発活動の実施  28　特殊詐欺被害防止対策の推進  ○被害防止に関する広報啓発活動の推進  ○防犯機能付電話機等の普及促進  ○消費生活センターとの連携  29　水際対策の強化推進  ○金融機関職員等の従業員による未然防止対策の推進  ○金融機関に対するATM振り込み制限の推進  ○欺罔電話入電時における無人ATM等の警戒の実施  30　だまされないための電話対策の推進  ○自治体に対する防犯機能付電話機等の貸出事業等予算化に向けた働き掛け  ○高齢者等に対する留守番電話機能及び防犯機能付電話機等の活用に向けた働き掛け  31　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  ○被害防止広報啓発の実施  ○関係団体･企業等への協力要請  32　駐車場・駐輪場設置者等への防犯設備の整備に係る啓発、協力要請  ○防犯設備設置等の防犯環境整備の促進  ○犯罪発生実態に即した防犯環境整備へ向けた働き掛け  33　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付の啓発・指導  ○自転車盗難防止に向けた意識啓発の実施  ○「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」との連携 |